



文責 岩根小校長 佐藤勇人

師 走でも走らない

間もなく12月になります。今週は初雪が降り、最近めっきり寒くなってきました。暦の上ではすでに冬になりましたが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。地域・保護者の皆様におかれましては、日頃本校教育活動に様々なご支援とご協力をいただきましてありがとうございます。

6年栄養教室11/16より



陰暦12月を「師走」と言います。「師馳せ月」(しはせづき)から派生したものであり、この言葉の数ある語源説の中で、「師」とは「僧」であり、「師匠の僧がお経をあげるために東西を馳せる月」と解釈するのが最も有力なものと言われています。また、「師」とは「教師」のことで、「学校の先生が忙し

くて走り回る月」という説もあるようです。

もっとも最近の先生は、12月ばかりでなく一年中忙しいという感もありますが、確かに12月は、通常の授業や特設部活動などの指導に加え、単元テストや学期末テスト、通知票などの成績に関する事務処理、個別面談のための資料作成、その他にも年末・年始を迎えるための身辺整理、校内研究(算数科)のまとめ、次年度の教育課程の編成作業など、多忙感にあふれています。

しかし、本校の先生方は走りません。私たちが多忙感に追い回されて走っているのは、児童の落ち着いた学校生活に影響が現れてしまおうと考え、音楽集会11/24より



確かに12月になり、短縮授業が多くなって通常より早く下校する頃になると、児童の気持ちも緩みがちになります。これは人としての心情としては、むしろ当然のことです。授業に身が入らなかつたり、思わぬ事故が発生したりするのもこの時期に起こりがちです。そのような時に、私たち教師までが走り回っているのは、児童たちの落ち着いた安定した学校生活は望めないことになってしまいます。忙しさに振り回されるのではなく、普段と変わらぬ姿で児童

と接し、きめ細かく関わっていくことが大事です。そうすることで、児童の心の安定も図れるものであると考えています。

年末・年始を控え、各ご家庭でもその準備のために忙しい時をお過ごしになると思います。お子さんたちも一緒に大掃除や年始の挨拶などを行い、家族の一員としての役割を果たしながら大きな節目を迎えることでしよう。このような時こそ、落ち着いた中で一年を振り返り、新たな目標を立てさせたいものです。

さて、二学期の授業日数も残すところ17日となりました。今月も岩根小学校児童388名の安全な生活と健やかな成長のために、尚一層のご協力とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

夢の教室

プロジェクトから

11月18日(水)、19日(木)に5年生の授業に夢



の先生が来てくださいます。この事業は、市教育委員会のキャリア教育の一環として、「子どもたちに生きる希望や夢をもって小学校生活を

過ごしてもらいたい」という目的のもと毎年実施しているものです。来てくださったのは元サッカー選手の都築龍太さんと、陸上選手の秋本真吾さんです。

前半は夢先生と一緒に体を動かしました。子ども達は課題を解決する中で仲間の大切さに気づいていきました。

後半は教室で夢について熱く語っていただきました。

秋本先生



その後、夢シートに夢や夢を叶えるためにすることなどを記入しました。夢シートは、後日、集合写真と夢先生のサインとメッセージが書かれ返却されます。夢先生からの返事が楽しみです。

夢を考える、夢を持つ、夢を叶えるために行動に移すとても良い機会となりました。

夢シートに取り組む子どもたち

